



潮干狩り

船橋三番瀬海浜公園

■ ご挨拶 副会長 宮本 信

シニアクラブの活動も多々影響を受けてきたコロナ禍は漸く落ち着きつつあります。

この3年あまり直接皆様とお会いできる場を設定するのが困難な状況でしたが、これからは徐々にではありますが以前の行事の復活や新たな活動に取り組んでいきたいと思っております。

ところで世界に目を転じますと、ロシアのウクライナ侵攻やミャンマー軍による民主化勢力への弾圧、さらにはスーダンでの紛争の激化など、人々の人権を脅かす深刻な状況が続いています。国内に於いても、昨年の安倍元首相への銃撃につづき、直近では岸田首相が選挙応援時に爆発物により襲撃されるなど、理由はともあれ民主主義のルールを逸脱する事件が発生しました。その他にも海外を拠点とする特殊詐欺グループによる強盗事件が多発し殺人にも至るなど、世の中を暗くする出来事が目立ちます。

その様な中で一筋の光明と言えれば日本人アスリートの活躍ではないでしょうか？

中でも昨年11月から12月にかけて行われたサッカーワールドで大方の予想を覆し予選リーグでドイツ・スペインという強豪国を破り決勝トーナメントに進出したこと、3月のWBCでは



予選から決勝まで無敗で3大会ぶりの優勝を遂げたことは私たちを大いに勇気づけたのではないのでしょうか？特にWBCでMVPに選出された大谷翔平選手はその後開幕したMLBでも投手としても打者としても大活躍で正に日本の宝と言っても過言ではないと思っております。今後の益々の活躍を期待します。

更に私たちにとって明るいニュースですが、先日行われた統一地方選挙では、横須賀市議会議員選挙において、ビクター出身の伊関こうじさんが6期目の当選を果たすことができました。

シニアクラブ会員の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

振り返りますと伊関さんが組織内議員として横須賀市議会議員選挙に初挑戦したのは私が現役のビクター労組委員長であった2003年のことです。それまで、ビクター労組では所属する産業別労働組合などの候補者を支援することはあっても、自らの組織から議員を出すことはできていませんでした。伊関さんはビクター初の組織内議員であり、そのまじめな仕事ぶりから地元の皆様にも評価していただき今日に至っています。

シニアクラブ会員の皆様には今後とも伊関こうじさんへのご支援をお願い申し上げます。



■ 活動報告「Online 会合(4/24)」

NHK大河ドラマの波及力は大きいようで、国立公文書館では企画展「家康、波乱万丈！」



が始まりました。 <https://www.archives.go.jp/> 参照

私たちも Online 会合で年初より徳川幕府をテーマに開催してきましたが、今回は国立公文書館のアーカイブ資料から江戸時代、天下泰平の世に起こった天下大變な出来事について眺めました。

<http://jvc-senior.com/20230424online.pdf> 参照

この報告の中にも記していますが、江戸時代に書かれた文章を読み解ける人がいません。新たな試みとして Online で「変体仮名読み解き講座」を始めたいと思うのですが、講師料ゼロでどなたか先生となってくれる人はいませんか。

■ 活動報告「東京みなと丸乗船(4/27)」

2020年に新しく就航した東京都の港湾視察船「東京みなと丸」はコロナのため



にしばらく一般の乗船募集を受け付けていませんでした。4月から再開されたので早速港湾視察に参加してきました。

報告 <http://jvc-senior.com/20230430tasirov2.pdf>

■ コロナ2類から5類に移行(5/8～)

国内における最初のコロナ感染報告からすでに3年以上経過しました。当初、治療や対処方もわからぬまま、新型コロナ感染でレントゲン写真を見ると一気に肺が真っ白になる、という症状を見て恐ろしささえも感じていたのではないのでしょうか。

ワクチン接種が進み、マスク・手洗い・3密回避など予防方も皆が徹底するようになり、昨夏のようにオミクロン株で「国内一日20万人発症！」などと聞いてもさほど恐ろしさを感じることもなくなってきたようです。現在国内では毎日数千人から1万人前後の発症が確認されていますが、新型コロナは季節性インフルエンザと同等の扱いになります。

冬に多発するインフルエンザと違い、真夏でも発生数が増えるところかピークになることもあったコロナです。まだまだ十分に気を付けて行動することが必要でしょう。

■ 民間企業(ispace)初の月面着陸に挑戦

4月26日(水)未明、民間企業初の月面着陸挑戦が試みられました。その時の様子が次の映像で紹介されています。 <https://youtu.be/n-5OgNSNHFU>

この映像の1:10:40 過ぎが月面着陸の予定時刻となっており、直前の緊張感が伝わる映像となっています。しかし、着陸時間が過ぎても着陸の確認がとれず、しばらくの間関係者の心配そうな顔が映されていました。1:35:30 ごろからの映像で、正式に ispace 袴田武史 CEO から「着陸確認が取れず引き続きエンジニアが確認中」との説明があり、映像はここで終わっています。後刻、最終的には燃料切れでランダーは月面に墜落したとのことで、今回のミッションは失敗との発表がありました。

ispaceは月への物資運搬(ペイロードサービス)や情報サービスをビジネスとしており、今回のミッションではアラブ首長国連邦の月面探査ローバー(重量10kg程)の搬送契約を結び、米国NASAにも着陸時の様々な情報提供を約束していました。この売り上げはどうなるのでしょうか。そしてもう一つ気がかりなことはタカラトミーが作成した野球ボール程度の小さな変形型月面ロボットです。



©JAXA/タカラトミー/ソニー/同志社大学

月面へのハードランディングで月面ランダーが壊れてこの球形ロボットが飛び出してしまったのではないかと勝手に想像していますが、これが孤児となってひとりさまよいながら月面を動き回っている様子を想像すると哀れに思います。

■ 事務局から

☆ 伊関こうじ議員6選

前ページにも述べられた通り、4月の統一地方選で労組が全面的にバックアップしてきた組織内議員、伊関こうじさんがめでたく6選を果たしました。いずれ機会を得て、今までの豊富な議員活動を通じた貴重な経験などをシニアクラブ会員の前で直接話してもらいたいと考えております。



伊関こうじ議員
横須賀市 HP より

☆ 先月号で会社の春闘は周回遅れと書きましたが、結果は同業者に並ぶ回答を得たと報告を受けております。

事務局長 田代 周